

【記載に当たってのお願い】企画提案書はA4両面2枚、企画提案収支予算書はA4片面1枚とし、枚数が増えないようにしてください。

第1号様式（第4条関係）

申請書記載例 1頁目

市民提案型協働事業企画提案書

年 月 日

（宛先）

秦野市長

所在地
提案者 団体名

代表者名

新規・継続 新規 継続（ 年度～）

秦野市市民提案型協働事業について、次のとおり企画を提案したいので、関係書類

○添 団体名ではなく、事業の内容や目的を表し、
第三者にもわかりやすい事業名 算書と予算書

事業名	みんなで解決した地域課題取組結果紹介！
事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど	地域の課題の解決に向け、市民活動団体などが連携して取り組み、成果を上げている具体的な活動を取材し、記録する。この記録を基に、地域課題への取組みを紹介する冊子の作成をはじめ、パンフレットの作成やホームページへの掲載等、地域の市民活動団体が連携して解決を図っていく活動のPRを通じ、地域内や他の地域への普及啓発・促進を図っていく。
協働事業の必要性・メリット なぜ、市と協働で実施したいのか、 市民・団体・市のメリットをそれぞれ具体的に	<p>必要性 行政の持つ信頼性を背景に円滑な事業の進行や広報媒体の活用で事業が広く周知できるとともに、協働することで行政単独で行うよりも市民活動団体目線の冊子等を作成できる。</p> <p>市民のメリット（市民が受けられるサービスや解決される課題等） 先進的な取り組みを紹介することで、各地域での課題解決や新しい住民サービス等へ取り組むためのきっかけづくりとなる。</p> <p>団体のメリット（行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保等） 行政が連絡・調整を担うことで、地域の協力体制が整うことが期待でき、各種の広報媒体等を活用することで、広く周知できる。</p> <p>市のメリット（団体が持つ専門性やノウハウの活用等） 団体の目線を盛り込み、団体の持つ技術が活用できる。また、団体が自主的に行い、市が進めるコミュニティの活性化が図られる。</p>

事業のアピール ポイント この事業の先駆性、 先進性、創意工夫 など	市内の各地域で抱えている様々な課題に対して、地域の市民活動団体が連携して解決を図る先進的な取組みを紹介することにより、秦野市民だけでなく、市外の人たちに対しても、住みよいまち秦野を周知できる。																								
事業概要・ 実施スケジュール 事業の概要と月ごとの予定などをできるだけ具体的に	<ul style="list-style-type: none"> 5月～10月 地域取材 現状把握のため、地域の方々にインタビュー等を行う 11月～12月 編集・冊子等作成 地域で取材した内容を編集し、冊子等を作成する。 1月～2月 作成した冊子等を紹介しながら、地域課題への対応についての講演会を実施する。 3月～ ホームページなどでも周知する。 																								
役割分担 事業実施に必要な役割を全て記入	<p>提案団体が担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の市民活動団体の取り組みを取材 編集、冊子等の作成 作成した冊子等を活用した市民・地域への周知 <p>本市に望む役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 取材する地域の団体との連絡及び調整 冊子等作成への助言 広報等各種媒体の活用 																								
事業の分野 事業の分野を選択	<p>主となる活動分野1つに○をしてください。 その他、該当する活動分野がある場合は○をしてください。 (複数回答可)</p> <table border="1"> <tr> <td>保健、医療又は福祉の増進</td> <td>社会教育の推進</td> <td>①</td> <td>まちづくりの推進</td> <td>観光の振興</td> <td>農林業又は中山間地域の振興</td> </tr> <tr> <td>学術、文化、芸術又はスポーツ振興</td> <td>環境の保全</td> <td></td> <td>災害救援</td> <td>地域安全</td> <td>人権の擁護又は平和の推進</td> </tr> <tr> <td>国際協力</td> <td>男女共同参画社会の形成の促進</td> <td></td> <td>子どもの健全育成</td> <td>情報化社会の発展</td> <td>科学技術の振興</td> </tr> <tr> <td>経済活動の活性化</td> <td>職業能力開発又は雇用機会の拡充</td> <td></td> <td>消費者の保護</td> <td>団体運営又は活動に関する援助</td> <td>その他()</td> </tr> </table>	保健、医療又は福祉の増進	社会教育の推進	①	まちづくりの推進	観光の振興	農林業又は中山間地域の振興	学術、文化、芸術又はスポーツ振興	環境の保全		災害救援	地域安全	人権の擁護又は平和の推進	国際協力	男女共同参画社会の形成の促進		子どもの健全育成	情報化社会の発展	科学技術の振興	経済活動の活性化	職業能力開発又は雇用機会の拡充		消費者の保護	団体運営又は活動に関する援助	その他()
保健、医療又は福祉の増進	社会教育の推進	①	まちづくりの推進	観光の振興	農林業又は中山間地域の振興																				
学術、文化、芸術又はスポーツ振興	環境の保全		災害救援	地域安全	人権の擁護又は平和の推進																				
国際協力	男女共同参画社会の形成の促進		子どもの健全育成	情報化社会の発展	科学技術の振興																				
経済活動の活性化	職業能力開発又は雇用機会の拡充		消費者の保護	団体運営又は活動に関する援助	その他()																				

	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会組織による市民活動団体間のネットワーク ・特定分野だけではなく、様々な分野で活動する団体が所属しているので、専門的な視点で取り組める。 ・分野を超えた意見を集約できる。 <p>行政にはない団体独自の特性や団体が事業を実施するうえでの強みなどを記載</p>
事業で生かされる団体の特性 団体の専門性・先駆性・柔軟性など	平成20年に市民活動団体「〇〇〇〇会」からの依頼で、市民活動団体を紹介する冊子を作成。 市民活動団体の活動を資金面で支援する「市民活動サポート事業」を行政と協働で実施。
他団体との連携・協働の実績 他団体などと連携の実績や予定、市と協働で取り組んだ事業など	次年度も双方で実施 (<input checked="" type="checkbox"/> 提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 提案型以外) <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 事業は今年度のみ予定 <input type="checkbox"/> その他 () (実施後の具体的な事業展開や上記の補足事項) 事業実施後は作成した冊子を各地域で効果的に活用する方法を検討するとともに、実施した事業の成果や課題を踏まえ、今回の事業で取材できなかった他の地域の先進的な取り組みを紹介するホームページを作成するなど地域を拡大し、協働事業として継続して実施したい。

※ この提案書のほか、関係書類に記載された個人情報は、秦野市市民提案型協働事業の事務以外には使用しません。

市民提案型協働事業企画提案団体概要書

団体名	(フリガナ) ○○○○キョウキョウカイ			
	○○○○協議会			
所在地	〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号			
ホームページ	http://			
連絡担当者及び連絡先	担当者	秦野 太郎 (役職) 会長		
	電話	○○-○○○○ (連絡可能な時間帯) 18時以降		
	FAX	○○-○○○○	E-MAIL	
	住所	〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号		
設立年月	平成13年 9月 (法人格取得年月 年 月)			
会員の状況	個人会員	16人 (うち秦野市民 16人)	団体会員 団体	
活動内容・活動実績	市民活動団体同士が連携をとりながら、各団体の活性化やパートナーシップの関係を形成し、活力あふれる地域社会の発展に役立てることを目的として平成13年9月に発足しました。以後、「顔の見える活動に向けて」を基本方針として、様々な分野で活動するボランティア団体が横の連絡をとりながら、ボランティアのすそ野を広げるため、中学・高校生のボランティア体験研修事業（夏休み・春休み）等を展開しています。			
協働事業との関わり	<input type="checkbox"/> 新たな事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今までの活動の拡大 <input type="checkbox"/> 今までの活動と同規模			
活動体制 活動に携わる主なメンバーを記入	役職等	氏名	協働事業での役割	
	会長	秦野 太郎	事業全体の総括	
	副会長	○○ ○○	取材の総括	
	事務局長	○○ ○○	運営総括	
	理事	○○ ○○	取材・編集	
	会計	○○ ○○	会計管理 収支決算書の作成	

市民提案型協働事業企画提案収支予算書
(この協働事業だけの金額を記入してください。)

団体名 ○○○○協議会

(単位:円)

総事業費	100,000	市の支出	70,000
		団体の支出 (他の収入等)	30,000

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	積算根拠 (数量・単価など)
市の支出	C 70,000	①負担金 60,000円 ②報償費 10,000円
団体の支出	30,000	団体の会計より支出
事業収入		
収入合計	A 100,000	

2 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	うち市の支出	積算根拠 (数量・単価など)
謝金 (講師)	10,000	② 10,000	講演会の講師謝礼 10,000円×1回
謝金 (有償ボランティア)	50,000	① 50,000	取材 (18日)・冊子編集 (7日) 25日×2人×1,000円=50,000円
事務用品	10,000	① 10,000	資料用紙・印刷代 100円×100セット=10,000円
旅費・交通費	30,000	0	取材地へのバス代等 (団体支出) 25日×2人×600円=30,000円
支出合計	B 100,000	D 70,000	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。